

# 2023年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

2022年11月8日

株式会社エーアイ

証券コード：4388

声を便利に、声を楽しく。



1. 企業概要
2. 2023年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2023年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

# 会社概要

会社名	株式会社エーアイ（英文社名：AI, Inc.）
代表者	代表取締役社長 廣飯 伸一
設立	2003年4月1日
本社	東京都文京区西片一丁目15番15号 KDX春日ビル10階
資本金	151,481,320円（資本準備金 121,280,000円）
市場	東京証券取引所グロース（証券コード：4388）
主要株主	廣飯 伸一、吉田 大介、合同会社 吉田事務所
決算期	3月
従業員数	正社員：56名 パート及び嘱託社員：16名
事業内容	音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供

（2022年9月末日現在）

# 企業理念・行動指針

## 企業理念

エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます

## MISSION

声がつくれる“便利さ”と声をつくる“楽しさ”を

## VISION

音声技術で社会の役に立つサービスをつくり続ける

## VALUE

音声技術のトップランナーで居続ける

- 人が幸せになる技術・サービスを提供する
- お客さまと社員と共に未来をつくっていく
- 日々、一步一步丁寧に歩いていく

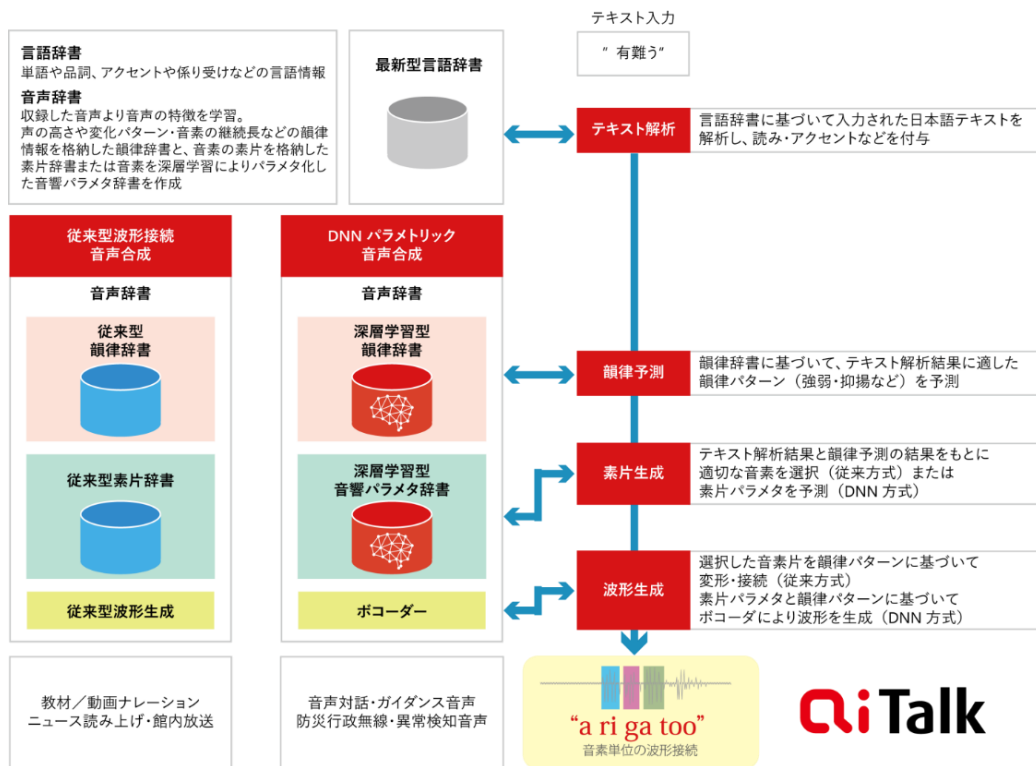
## 行動指針

- 新しい技術、新しいスキルを、常に身につけていく人に。
- お客さまも社員も自分も。仲間と一緒に自分を育てていく思いやりのある人に。
- 着実に行動して成長していく向上心のある人に。

# AITalk®とは

機械的な合成音ではなく、人間の肉声に近い自然な音声を実現した高品質音声合成エンジンです。

音声合成エンジン「AITalk®5」は、従来の「コーパスベース音声合成方式」と、最新の深層学習技術を活用した「DNN音声合成方式」を、利用シーンに合わせて選択することで、さらなる人間らしさ・豊かな音声を追求めた高品質音声合成エンジンです。



# 選ばれる理由

## ①人間的でなめらか・人に近い自然な音声

AITalk®は、従来の機械的な合成音ではなく、人間の声に近い自然な音声合成です。

## ②総勢100名以上の話者・言語の種類は40種類以上の豊富な音声ラインナップ

日本語話者は大人から子供、関西弁まで幅広く対応。外国語話者は他社と連携し提供。音声の差替えや追加の度に発生していた収録の手間やコストの事を気にせず、必要な時に必要なだけ音声の差替えや追加ができます。

## ③誰の声でも短時間（2時間～）の収録で音声合成用データに変換

芸能人や声優、自分の声を収録し、音声合成用のオリジナル辞書を作成することができます。文字を入力するだけで、本人の声のようリアルな音声で喋らせることができ、WEBキャンペーンやスマートフォンアプリ、ゲーム等の様々なコンテンツでの展開が可能です。

# ビジネスモデル

区分		販売形態		製品・サービス
法人向け	法人向け製品 (前年度実績：売上の44.9%)	パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AITalk® 声の職人®</li> <li>・AITalk® 声プラス®</li> <li>・AITalk International®</li> </ul>
		ライセンス提供	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AITalk® SDK</li> <li>・AITalk® Server</li> <li>・AITalk® micro</li> </ul>
		受託開発	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AITalk® Custom Voice®</li> <li>・音声ファイル作成サービス</li> </ul>
		その他	ストック型 フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VOITER (AIライティングレコーダー)</li> </ul>
	法人向けサービス (前年度実績：売上の26.8%)	クラウドサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AITalk® WebAPI</li> <li>・AITalk® Web読み職人®</li> <li>・AITalk® 声の職人® クラウド版</li> <li>・A.I.VOICE® Biz</li> </ul>
		サポートサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術サポート</li> </ul>
コンシューマー向け製品 (前年度実績：売上の28.3%)		パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かんたん！AITalk®</li> <li>・かんたん！アフレコ™</li> <li>・AITalk® あなたの声®</li> <li>・VOICEROID®シリーズ</li> <li>・A.I.VOICE®シリーズ</li> </ul>

# 利用されている用途 (AITalk)



音声対話



防災行政無線・全国瞬時警報システム (J-ALERT)



道路交通情報



ナビゲーション・PND



スマートフォンアプリケーション



観光案内・館内・車内各種放送



電話自動応答システム



ロボット



WEBキャンペーン・WEBサービス



ゲーム



e-learning・教材・マニュアル作成  
Copyright AI, Inc. All Rights Reserved.



機器への組み込み



パッケージソフトへの組み込み



ソフトOEM提供



メディア



# 利用されている用途 (A.I.VOICE)

キャラクター利用 + 動画ナレーション作成

## 個人利用



解説動画

TRPGリプレイ動画

歌ボ動画  
(歌うVOICEROID)

料理・ゲーム・  
旅行の実況動画

キャラの掛け合い  
劇場動画



## 法人利用



地方創生・観光誘致  
(町おこし)



デジタルコンテンツ  
(スマホアプリ・ゲーム)



セールスプロモーション



キャラクター商品化

# 導入・販売実績

導入実績数



2000社

防災行政無線での  
導入自治体数



786市区町村

オリジナル音声辞書  
作成実績数



400名

法人向けパッケージソフト  
累積販売数



1700ライセンス

コンシューマー向け  
パッケージソフト累積販売数



6万ライセンス以上

1. 企業概要
2. 2023年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2023年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

# エグゼクティブサマリー

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進むものの、長期化するロシア・ウクライナ情勢の懸念等により、世界的な原材料価格の高騰や半導体の不足、金融資本市場の変動等、依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社を取り巻く環境においては、当第1四半期に引き続き、当第2四半期におきましても、「緊急防災・減災事業債」における地方交付税措置が、当初令和2年度までとされていたことに伴い、防災案件が2021年3月期までに集中したことによる反動に加え、**新型コロナウイルス等の影響による半導体不足が影響し、防災メーカーの入札控え等により、防災案件の売り上げが低調に推移しました。**また、コロナ禍に伴う企業のテレワーク、学校のオンライン授業におけるeラーニング教材・動画等のナレーション作成用途での「AITalk® 声の職人®」、「AITalk® 声プラス®」等のパッケージ製品の需要増加も落ち着きが見られ、**計画を下回って推移しました。**「AITalk®声の職人®S」のリリースに伴い、販売記念キャンペーンを実施しましたが、防災案件及びパッケージ製品の不足分をカバーするに至りませんでした。

# エグゼクティブサマリー

この結果、

○上半期売上高293百万円、経常利益△23百万円で、当初（5月13日発表）計画比ともに減収減益。

※法人向け製品、法人向けサービス、コンシューマー製品が全体的に計画を下回り、売上高は計画比76.5%。

※売上高の減少に連動し、経常利益は赤字。

○需要が拡大している分野への拡販に向けて、法人向け「音声ファイル作成サービス」、iFLYTEK JAPAN AI SOLUTIONS社との連携によるAIライティングレコーダー「VOITER」の取り扱いを開始。

営業・研究開発体制の強化を進めるとともに、個人向けオリジナルブランド「A.I.VOICE®」において、10月より「A.I.VOICE Biz」の法人展開、国内向けの日本語新キャラクターを順次発売。

セレンス社との連携の強化を進行中。

○人材の採用は順調に推移※4月～9月、新卒で5名、中途で1名入社。

# 2023年3月期 第2四半期 決算概要【前年同期比】

- 防災案件が2021年3月期までに集中したことによる反動に加え、新型コロナウイルス等の影響による半導体不足が影響し、防災メーカーの入札控え等により、防災案件の売り上げが低調に推移。
- コロナ禍に伴う企業のテレワーク、学校のオンライン授業におけるeラーニング教材・動画等のナレーション作成用途でのパッケージ製品の需要増加も落ち着きが見られたことにより、パッケージ製品の売上も前年同期から減少。
- 売上高が当初計画値を下回ったことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益の全てにおいて赤字を計上。

(百万円)

	2022年3月期第2四半期（実績）		2023年3月期第2四半期（実績）		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	329	100.0%	293	100.0%	△ 36	△ 11.0%
売上原価	56	17.0%	77	26.5%	+ 21	+ 37.4%
売上総利益	272	82.7%	215	73.5%	△ 57	△ 21.0%
販売管理費	229	69.6%	239	81.7%	+ 9	+ 4.3%
営業利益	43	13.1%	△ 24	-	△ 67	-
経常利益	40	12.2%	△ 23	-	△ 63	-
当期純利益	30	9.1%	△ 16	-	△ 47	-

# 2023年3月期 第2四半期 決算概要【当社計画比】

○防災案件の縮小、パッケージ製品の需要増加の落ち着きにより売上高は当初計画比76.5%。

○費用面については、販売促進費の抑制等により当初予定は下回ったものの、売上高が当初計画値を下回ったことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益の全てにおいて、赤字を計上。

(百万円)

	2023年3月期 第2四半期（当初計画）		2023年3月期 第2四半期（実績）		計画比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	達成率
売上高	383	100.0%	293	100.0%	△90	76.4%
売上原価	74	19.5%	77	26.5%	+2	103.9%
売上総利益	308	80.5%	215	73.5%	△93	69.7%
販売管理費	257	67.1%	239	81.7%	△17	93.1%
営業利益	51	13.5%	△24	-	△75	-
経常利益	51	13.4%	△23	-	△74	-
当期純利益	36	9.4%	△16	-	△52	-

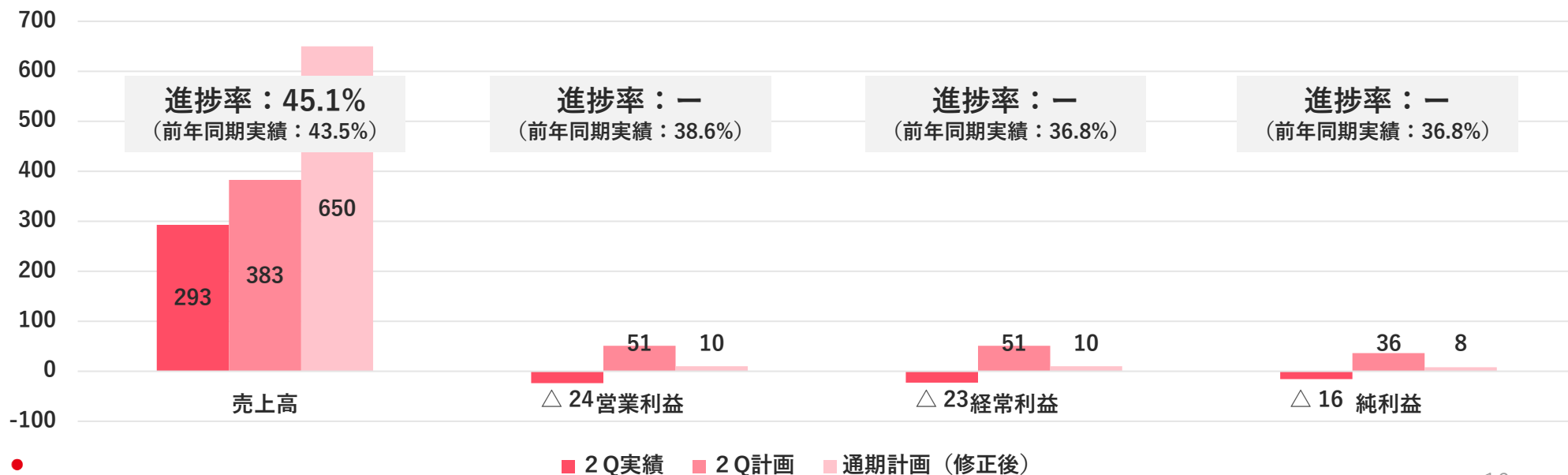
# 2023年3月期 第2四半期 決算概要【進捗状況】

○売上高については、計画を23.5ポイント下回り、進捗率45.1%。

○売上高の減少により営業利益、経常利益、四半期純利益についても計画値を下回り赤字に転化。

○現時点においては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて、期初発表予想を下回る見通しとなるため、2023年3月期の通期業績予想については、2022年10月18日公表の「2023年3月期第2四半期（累計）および通期の業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」の通り修正。

(百万円)





# 2023年3月期 第2四半期 分類別売上【前年同期比】

## 【法人向け製品】

- ・ 防災案件について、2021年3月期までに受注が集中したことによる反動に加え、半導体不足の影響を受けたメーカーの入札控え等により、低調に推移。
- ・ パッケージ製品の需要増加も落ち着きが見られ、計画を下回って推移。「AITalk® 声の職人®S」のリリースに伴う販売記念キャンペーンを実施したものの不足分をカバーするには至らず。

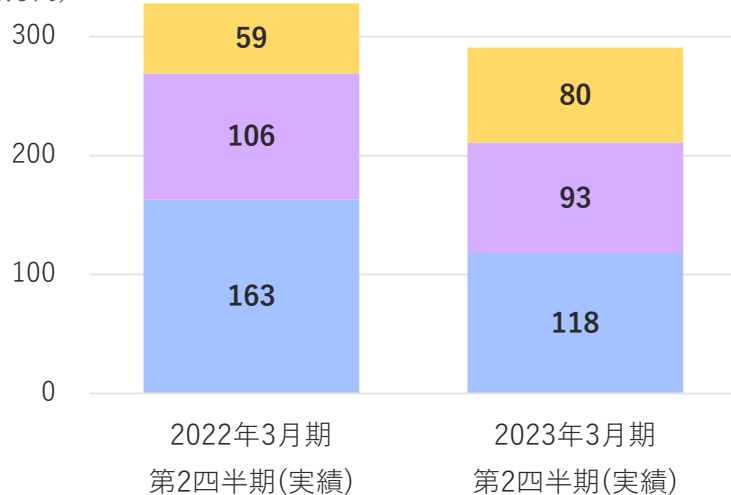
## 【法人向けサービス】

- ・ 前年同期比では減少したものの概ね当初計画値通りに推移。

## 【コンシューマー向け製品】

- ・ 「A.I.VOICE®」シリーズの需要は引き続き拡大傾向。

(百万円)



(百万円)

	2022年3月期 第2四半期(実績)		2023年3月期 第2四半期(実績)		前期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
法人向け製品	163	49.5%	118	40.5%	△27.2%
法人向けサービス	106	32.5%	93	31.9%	△12.6%
コンシューマー向け製品	59	18.0%	80	27.6%	+36.7%
合計	329		293		△11.0%

# 2023年3月期 第2四半期 貸借対照表の概要

## 【資産合計】

現金及び預金が125百万円減少したことにより前事業年度末比109百万円減少。

## 【負債合計】

未払金が15百万円減少したことにより、前事業年度末比14百万円減少。

## 【純資産合計】

自己株式が60百万円増加したことに加えて、利益剰余金が34百万円減少したことにより、前事業年度末比94百万円減少。

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期	前期比 増減額
流動資産	1,313	1,201	△112
固定資産	41	44	+ 2
有形固定資産	18	15	△ 2
無形固定資産	7	8	± 0
投資その他の資産	15	20	+ 5
資産合計	1,354	1,245	△109

(百万円)

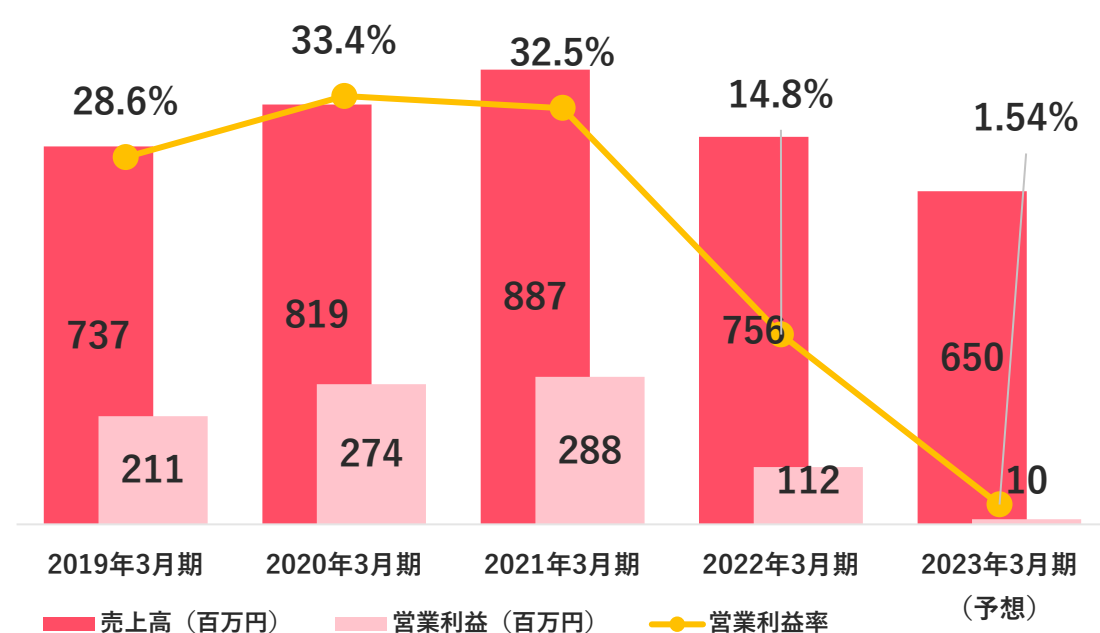
	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期	前期比 増減額
流動負債	72	59	△13
固定負債	2	1	± 0
負債合計	75	60	△14
純資産	1,279	1,184	△ 94
負債・純資産合計	1,354	1,245	△109

自己資本比率	94.4%	95.1%	+ 0.7pt
--------	-------	-------	---------

1. 企業概要
2. 2023年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2023年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

# 2023年3月期 通期 業績予想

2023年3月期通期の業績予想につきましては、半導体不足が徐々に解消されることが見込まれ、防災案件の回復が見込まれますが、上期の不足分をカバーするには至らない見通しであり、また、パッケージ製品についても、上期の状況を勘案し、通期の将来予想の見直しを行いました。また、コンシューマー向け製品についても、「A.I.VOICE®」シリーズの新キャラクターのリリースが一部来期へ後ろ倒しとなる見込みであることから、通期の将来予想の見直しを行いました。以上より、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて、前回発表予想を下回る見通しとなりましたため、通期業績予想を下記のとおり修正しました。



(百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期 (予想)	前期比 増減率
売上高	756	650	△14.1%
営業利益	112	10	△91.1%
経常利益	109	10	△90.9%
当期純利益	83	8	△90.4%

# 2023年3月期 通期 業績予想（分類別）

【法人向け製品】 半導体不足が徐々に解消されることが見込まれ、防災案件の回復が見込まれますが、上期の不足分をカバーするには至らない見通しであり、280百万円を予想。

パッケージ製品についても需要増加の落ち着きが見られることから、法人向け製品の売り上げは低調に推移する見込み。

【法人向けサービス】 前期並みの200百万円を予想。

【コンシューマー向け製品】 「A.I.VOICE®」シリーズの新キャラクターのリリースが一部来期へ後ろ倒しとなるため、前年同期比を下回り、170百万円を予想。

(百万円)

	2022年3月期		2023年3月期（予想）		前期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
法人向け製品	339	44.9%	280	43.1%	△17.6%
法人向けサービス	202	26.8%	200	30.8%	△ 1.5%
コンシューマー向け製品	213	28.3%	170	26.2%	△20.5%
合計	754		650		

# 配当方針

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。具体的には、配当性向20%程度を目処に、配当水準の向上に努めてまいりました。

しかしながら、2023年3月期（第20期）の剰余金の配当予想につきましては、通期業績予想の修正の通り、非常に厳しい状況となることを受け、誠に遺憾ながら無配に修正させていただきました。

	年間配当					配当性向
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	合計	
2022年3月期（実績）	-	0.00円	-	3.50円	3.50円	21.1%
2023年3月期（予想）	-	0.00円	-	0.00円	0.00円	0.0%

1. 企業概要
2. 2022年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2022年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

# E S G への取り組み

## (S:社会) 2022年9月末時点

### ①女性活躍の推進

- ・社員56名中、女性が29名 (51.7%)
- ・管理職12名中、女性が5名 (41.6%)

### ②子育て支援の推進

- ・育児休業制度の活用 4名 (内、1名男性)

### ③働き方改革の推進

- ・所定労働時間の短縮 8時間から7.5時間へ
- ・フレックスタイム制度の導入
- ・残業の少ない職場環境 月平均残業時間：10.07時間 (前期平均：10.96時間)
- ・休暇を取りやすい職場環境 平均有給消化率：74.4%
- ・在宅勤務制度の導入 新型コロナウイルス感染症対応として暫定スタートした在宅勤務を制度化。2020年10月より会社の制度として運用開始。社員56中46名が在宅勤務を実施 (実施率：82.1%)

### ④社会貢献活動の推進

- ・修学旅行の社会科見学受け入れ 2校 (12名)

## (G:ガバナンス)

### ①株主・投資家との対話 (2022年4月～9月)

- ・機関投資家向け説明会の開催 1回
- ・機関投資家との1on1ミーティング 3回



1. 企業概要
2. 2023年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2023年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

# マーケットの状況

第1フェーズ：片方向の情報提供



第2フェーズ：双方向の対話・コンシューマーへの普及



第3フェーズ：

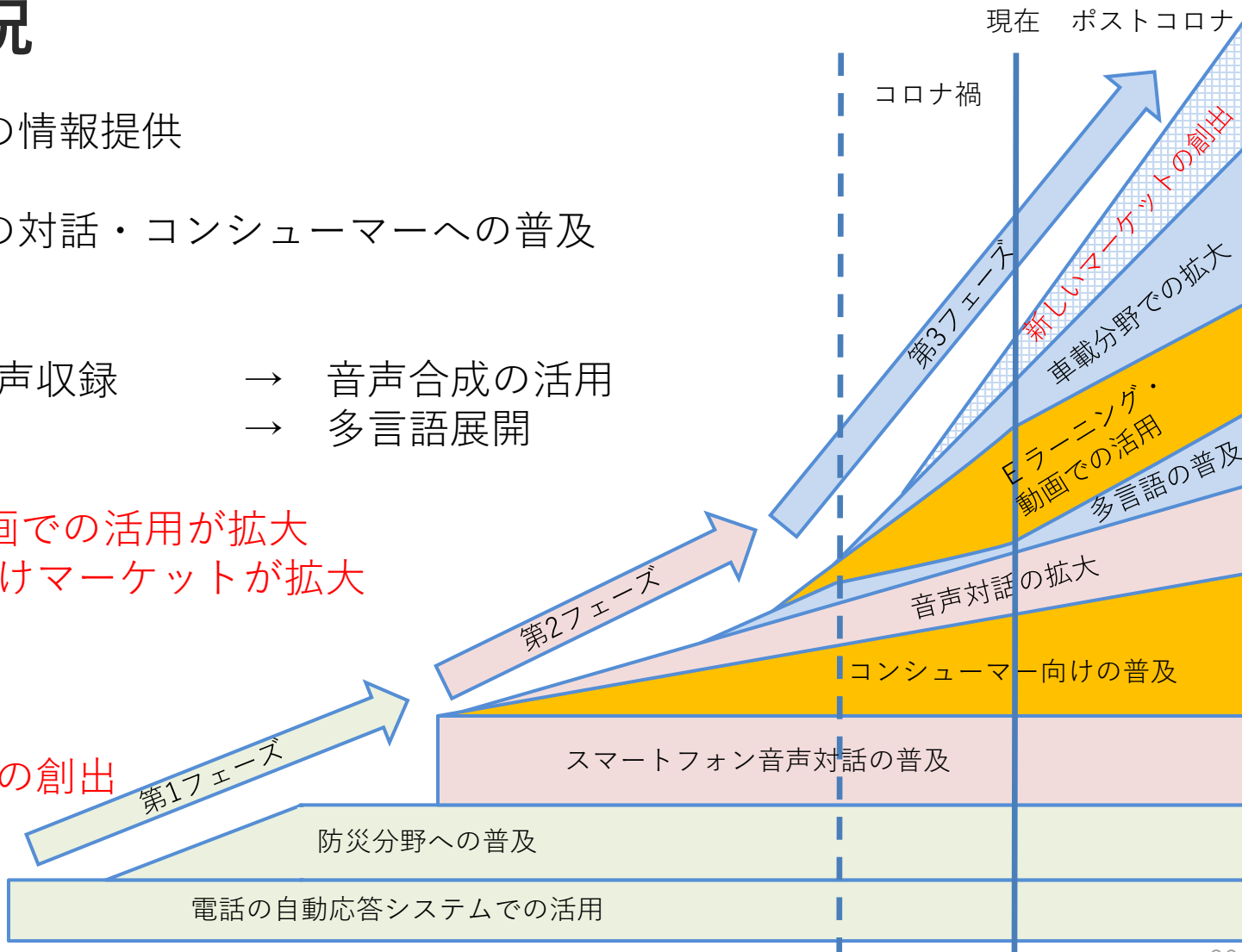
- ・ナレーションの音声収録 → 音声合成の活用
- ・日本語 → 多言語展開

(コロナ禍)

- ・Eラーニング・動画での活用が拡大
- ・コンシューマー向けマーケットが拡大
- ・多言語が停滞

(ポストコロナ)

- ・多言語の再拡大
- ・新しいマーケットの創出



# 2023年3月期の主な取り組み

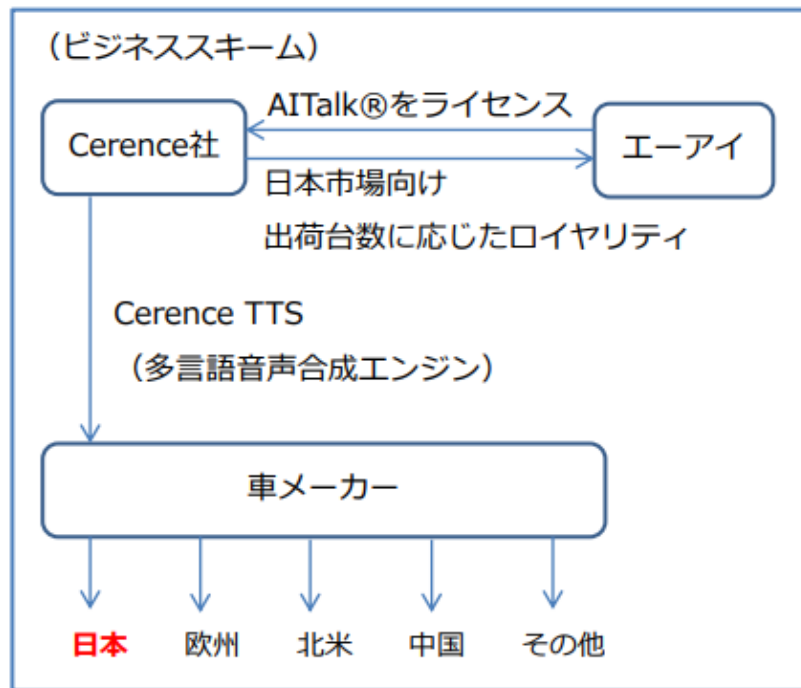
## ①Cerence社との取組み

### 【車載分野での協業の取組み】

- ・ 2019年11月21日 Cerence社とのライセンス契約を締結。
- ・ 2020年6月1日より「AITalk®」が組み込まれた「Cerence TTS」が Cerence社より提供開始。  
「Cerence TTS」の販売協力を加速。
- ・ 海外自動車メーカー複数社との契約締結により、搭載の実績が開始。  
既にロイヤリティ収入の受け入れを開始しており、来期以降一定規模の収益を見込む。
- ・ 国内の自動車メーカー搭載に向けCerence社と共同で商談を進行中。

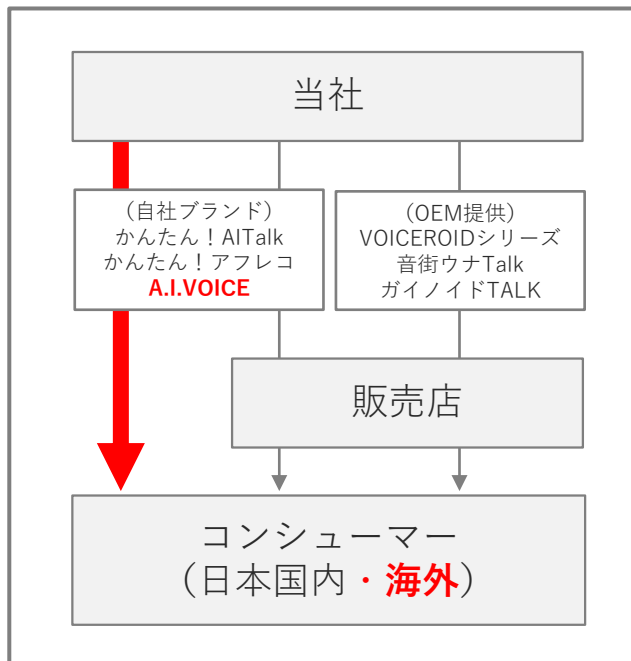
### 【車載分野以外の取組み】

- ・ 海外大手メーカーへの採用が決定。



# 2023年3月期の主な取り組み

## ②オリジナルブランドによる個人利用向け音声読み上げソフト「A.I.VOICE®」の拡大



### 【日本語新キャラクター展開】

2022年7月販売開始

「A.I.VOICE Junior RIA」

2022年9月販売開始

「A.I.VOICE GUMI」

2022年10月販売開始

「A.I.VOICE 結月ゆかり 凧」

「A.I.VOICE Junior 来果」

自社ブランドの拡大、海外展開を進める。

# 2023年3月期の主な取り組み

## ②オリジナルブランドによる個人利用向け音声読み上げソフト「A.I.VOICE®」の拡大

### 【日本語新キャラクター展開 2022年11月以降】

2022年11月販売開始

「A.I.VOICE Junior 青山龍星」

「A.I.VOICE 咲ちゃん」

2023年初春・夏提供開始（予定）

ニコニコ動画とVOICEVOXとのコラボ

「A.I.VOICE栗田まるん」※ニコニコ代表栗田穰崇氏

「A.I.VOICE 百花繚乱」

2023年春販売開始（予定）

日本工学院専門学校クリエイターズカレッジとの

コラボキャラクターによる「A.I.VOICE」

「A.I.VOICE 夜語（よがたり）トバリ」

※クラウドファンディングで支援金3,100万円超えを達成

「A.I.VOICE 紡乃世詞音（つのせことね）」※KADOKAWAとのコラボ企画

# 2023年3月期の主な取り組み

## ②オリジナルブランドによる個人利用向け音声読み上げソフト「A.I.VOICE®」の拡大

### 【海外展開】

2022年6月

中国向けプロモーションを開始。

ビリビリ動画A.I.VOICE公式チャンネルにおいて

2022年7月末現在で登録者数6万人を達成。初投稿動画は47万再生を突破。

2022年9月

中国語音声合成ソフト「Kotonoha Talk」日本国内発売開始

### 【法人向け展開】

2022年10月

法人向けIPコンテンツ対応音声合成サービス「A.I.VOICE Biz」開始

### 【自社IP（琴葉茜・葵）の積極展開】

2022年4月

水間鉄道とのコラボレーションを実施

2022年4月

琴葉茜・葵 NEUTRINOソングライブラリ無償配布開始

2022年5月

エーアイ・ドワンゴ共同開発のAIボイスチェンジャー

「Seiren Voice 琴葉茜・葵」発売開始

2022年8月

高円寺阿波おどり連協会「菊水連」とのコラボレーションを実施

2022年9月

「Seiren Voice 伊織弓鶴」発売開始

時期未定

ライブイベント開催

自社IPを活用した町おこし支援・コラボレーション企画の展開を予定


# 2023年3月期の主な取り組み

## ③音声合成単一事業からの脱却

- ・事業領域の拡大・新しいマーケットの創出を目的とした新たな展開に取り組む
- ・第一弾として、2022年10月よりiFLYTEK社が独自開発する高度な音声認識技術が搭載されたAIライティングレコーダー「VOITER」の提供を開始


## ④フロー型からストック型中心の収益構造へ

- ・フロー型（パッケージ製品の売り切り）からストック型（クラウドサービス：AICloud・A.I.VOICE Biz／ロイヤリティ収入）を確保する方向へシフト

音声合成クラウドサービス  AICloud

- ✓ 音声合成AITalkをクラウドサービスで利用可能
- ✓ 汎用的なナレーター音声を利用可能

2022年10月開始

キャラクターIP  
+キャラクターボイスサービス  A.I.VOICE Biz

- ✓ A.I.VOICEのキャラクターIPを利用可能
- ✓ A.I.VOICEの個性的なキャラクターボイスによる音声合成をクラウドサービスで利用可能

## ⑤法人営業の強化

- ・問い合わせ依存からの脱却
- ・SEO対策の強化に加えてインサイドセールス／フィールドセールスの強化



# 将来見通しに関する注意事項

本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。